

R7 アシスト 健康経営目標



健康経営の推進方針	人材こそが最大の経営資産。 社員が心身共に健康でいきいきと働ける職場環境を構築する。
健康経営の目標	社員一人一人が健康で安心して働ける職場環境づくり
目標達成状況を確認する 指標・目標値 (KGI)	指標 : 職場の心理的安全性尺度 ※1 目標値 : 80%
達成目標年度	令和10年度 (2028年度)

※1 職場で自由に発言できる心理的な安心感があること

◆目標達成のための具体的な数値目標

カテゴリー	指標	数値目標
職場の一体感	仕事に関連した情報共有が出来ている	75%
職場の一体感	ともに働こうという姿勢がある	80%
自由裁量権	仕事に自ら判断できる領域がある	60%
ワーク・エンゲイジメント ※2	自分の仕事に誇りを感じる	80%
ワーク・エンゲイジメント ※2	仕事をしていると活力がみなぎるように感じる	70%

※2 仕事に対する熱意・誇りを感じ、仕事から活力を得ていきいきとしている状態



R7 アシスト 健康経営目標



◆目標達成指標(KGI)の設定に至った経緯と今後の取り組みについて

令和6年(2024年)8月に実施した社内アンケートでは、該当項目に対する肯定的な回答率は55%でしたが、令和7年(2025年)8月の最新アンケートでは70%へと大きく向上しました。この結果は、健康経営の推進によって、社員が働きやすいと感じる職場環境が着実に整備されつつあることを示しています。

今後も、社員一人ひとりが安心して働ける環境づくりを継続的に進めるとともに、アンケート結果や現場の声をもとに、さらなる改善策を検討・実施してまいります。健康経営を基盤とした職場づくりを通じて、企業全体の生産性向上と持続的な成長を目指します。

◆目標達成のための具体的な数値目標の設定に至った経緯と今後の取り組みについて

職場における心理的安全性—すなわち、従業員が自由に意見を述べられる安心感のある環境づくり—は、組織の生産性や創造性を高める上で極めて重要です。

今回、社内アンケートの結果を分析したところ、複数の評価指標の中で、現時点でスコアが相対的に低く、かつ改善によってKGI(目標達成指標)の達成に直結すると見込まれる項目が明らかになりました。

そこで、心理的安全性の向上を加速させるために、5つの指標を重点的な改善対象として抽出しました。

- 現状スコアが低く、改善余地が大きい
- KGI達成への貢献度が高い
- 現場での実行可能性が高い

これらの指標に対して、具体的な改善施策を講じることで、職場全体の心理的安全性を底上げし、組織の持続的な成長につなげていきます。